

個 別 事 業 計 画 書

所管部署：企画政策部 地域振興課

(単位:千円)

事業名	ものづくりのまち推進事業	細事業名		新継区分	継続事業	
総合振興計画の位置づけ	第2章 自然・文化・人を活かした郷を創る	根拠法令等				
	3 南丹ブランドの「ほんまもん」をつくる					
	(1)南丹ブランド生産者等への支援					
事業計画期間	平成 24 年度 ～ 平成 26 年度	年度	当該年度における事業の実施内容	当該年度に目指す成果・効果	事業費	
現状の課題	国民文化祭京都開催を通じ、「ものづくりのまち南丹市」の位置づけは打ち出されているが、市民生活への定着が希薄な状況である。	各計画年度ごとの事業概要と目標・事業費	平成23年度 予算現額		6,000	
			平成24年度	・工芸文化祭の継続開催。 ・市民の暮らしや文化にまつわる「ものづくりキャンペーン」の実施。 ・ものづくりにかかわる職人等の活動や発表の場づくり、情報発信等、「ものづくりのまち」を推進する仕組みの構築。	・「工芸文化祭」、「ものづくり体験村」への出展者と来場者の増加 ・ものづくりキャンペーンの協力者と参加する市民の増加。	4,000
			平成25年度	・工芸文化祭の継続開催。 ・市民の暮らしや文化にまつわる「ものづくりキャンペーン」の実施。 ・ものづくりにかかわる職人等の活動や発表の場づくり、情報発信等、「ものづくりのまち」を推進する仕組みの構築。	・「工芸文化祭」、「ものづくり体験村」への出展者と来場者の増加 ・ものづくりキャンペーンの協力者と参加する市民の増加。	4,000
			平成26年度	・工芸文化祭の継続開催。 ・市民の暮らしや文化にまつわる「ものづくりキャンペーン」の実施。 ・ものづくりにかかわる職人等の活動や発表の場づくり、情報発信等、「ものづくりのまち」を推進する仕組みの構築。	・「工芸文化祭」、「ものづくり体験村」への出展者と来場者の増加 ・ものづくりキャンペーンの協力者と参加する市民の増加。	4,000
具体的な実施内容	国民文化祭の取り組み効果を市民生活に根ざしたものにすため、ものづくりキャンペーンの実施や工芸に関する体験教室の実施などを推進し、「ほんまもん」をつくり活かす市民意識の活動や意識の醸成を行う。さらに、それらの指導者として職人等の活躍の場や仕組みを作り、「ものづくりのまち南丹市」の実質の地域定着を図る。					
事業の目的	市の特長を活かした「ものづくりのまち南丹市」の魅力を高め、南丹ブランドの一つとして、ものづくり産業の定着を図る。					
事業の効果	伝統工芸をはじめとするものづくり産業の育成と振興で、経済効果への波及につなぐ。					